

実行委員会企画

「新たな異文化との出会い—16世紀から21世紀へと—」

ご挨拶

日本音楽教育学会会長 小川容子
宮崎大学教育文化学部長 添田佳伸
第46回大会実行委員長 菅 裕

招待講演（天瑞）3日（土）15：15～15：45

How Korean traditional music evolved in music textbooks?

韓国音楽教育学会会長・誠信女子大学 ヒョン 玄 ギョン 璟 シル 實

基調講演（天瑞）3日（土）15：55～16：25

新たな異文化との出会い

—西洋音楽発祥から『サカラメンタ提要』まで—

宮崎大学名誉教授 竹井成美

シンポジウム（天瑞）3日（土）16：25～17：25

新たな異文化との出会い

—400年の時を経て再び新たな出会いへと—

シンポジスト： 作曲家・熊本大学 国枝春恵
平戸市生月島博物館「島の館」 中園成生
司会進行： 宮崎大学名誉教授 竹井成美

常任理事会企画

プロジェクト研究Ⅰ（海峰）3日（土）13：30～15：00

『歌唱共通教材』

—〈研究者として、教育実践者として〉現場からの報告をもとに今後を考える—

パネリスト： 宮崎市立恒久小学校 酒匂美貴子
五ヶ瀬町立三ヶ所小学校 猪野貴一
帝塚山大学 村尾忠廣
企画・司会： 学習院大学 嶋田由美

プロジェクト研究Ⅱ（海峰）4日（日）13：30～15：00

学会から社会への発信（第1年次）

—教科音楽によって培われる力とは—

報告： 新潟大学 伊野義博
東京藝術大学 佐野靖
岡山大学 小川容子
鼎談：文部科学省教科調査官 津田正之
新潟大学 伊野義博
静岡大学 北山敦康
司会： 東京音楽大学 加藤富美子

研究発表

研究発表 A (クリスタル) 3日 (土) 9:30~12:30

司会：島崎篤子 (文教大学)・安田 寛 (帝塚山大学)

- | | | |
|-----|--|------------------|
| A-1 | 1930年代の小学校における器楽教育の動向
—合奏形態の分類と校種や“指導の場”との関連に着目して—
神戸大学大学院生・日本学術振興会特別研究員 | 樫 下 達 也 |
| 2 | J.R.ヴェーバーの唱歌教育改革論
—H.G.ネーグリとの関係を視点として—

京都女子大学 | 関 口 博 子 |
| 3 | 成城小学校における学校劇に関する研究
—音楽的側面に着目して—

広島大学大学院生 | 升 田 真依子 |
| 4 | 音楽・動き・ことばを合一させたオルフの音楽観に関する一考察
—音楽劇《月》と《クリスマス物語》に着目して—

広島大学大学院生 | 吉 井 也代里 |
| 5 | 芸術家の考える「芸術的価値」について
—音楽家と美術家へのインタビュー調査を基に—

福山市立大学
上野学園大学 | 古 山 典 子
瀧 川 淳 |
| 6 | 音楽科教育における言語活動とは
—ナティエのレヴィ=ストロース批判を中心に—

弘前大学教育学部附属特別支援学校 | 千 葉 修 平 |

研究発表 B (マーブル) 3日 (土) 9:30~12:30

司会：小畑千尋 (宮城教育大学)・北山敦康 (静岡大学)

- | | | |
|-----|--|---------|
| B-1 | ピアノ演奏時における視線の変化
—質問紙調査による視線の位置・視線移動に関する検討—
兵庫教育大学大学院連合学校 (岡山大学所属・院生) | 小 林 佳 子 |
| 2 | スポーツ活動時における競技者の音楽利用 (1)
—スポーツ従事者を対象とした質問紙調査を中心に—

兵庫教育大学大学院研究生 | 仙 田 真 帆 |
| 3 | 異なる演奏形態における音楽の内容の知覚感受比較
—生演奏と DVD 再生演奏に注目して—

同朋大学 | 水 野 伸 子 |
| 4 | 音楽演奏評価における要因と影響
—理論的分類と構造に着目して—

東京学芸大学 | 森 尻 有 貴 |
| 5 | 音楽聴取で心が動くときの大脳皮質の脳血流反応の特徴

信州大学 | 齊 藤 忠 彦 |
| 6 | 演奏者の“あがり”経験と演奏動作パフォーマンスの関係

広島大学大学院生 | 平 山 裕 基 |

研究発表C (海峰) 3日(土) 9:30~12:30

司会: 志民一成(静岡大学)・村上康子(共立女子大学)

- C-1 幼児の表現活動に見られるイメージとパフォーマンスとの関連性
—絵本『たまごのあかちゃん』を素材として—
- 東京福祉大学 下出美智子
東京福祉大学 岡村弘
元東京福祉大学大学院生 馬晨鍼
- 2 「音を出す」という幼児の行為に関する検討
—モノとかかわる子どもの身体に着目して—
- 東京藝術大学大学院生 伊原小百合
- 3 モンテッソーリ教育法における音楽指導法の比較研究
—M.モンテッソーリとE.B.バーネットの史料の検討をとおして—
- エリザベト音楽大学 藤尾かの子
- 4 子どもの歌におけることばとリズム
—4つのまとまりに着目して—
- 東京福祉大学 二宮紀子
- 5 音楽教室における「音の出ないモノとのかかわり」の意味をめぐって
—1歳児親子を対象としたレッスン場面の観察から—
- 駒沢女子大学・ヤマハ音楽振興会 丸山慎
ヤマハ音楽振興会 森内秀夫
- 6 2方向から観る授業実践の試み
—音による描写性を重視した事例を通して—
- 東京福祉大学 田崎教子

研究発表D (瑞洋) 3日(土) 9:30~12:30

司会: 高橋雅子(山口大学)・中嶋俊夫(横浜国立大学)

- D-1 音楽科指導事例における「言語活動」の類型化の試み
- 植草学園大学 高木夏奈子
- 2 ジョン・ゾーン《コブラ》(アマチュア版)の実践の教育的意義
—学級担任の視点から—
- 広島大学 寺内大輔
- 3 多文化音楽教育における音楽的コミュニケーションの意義と可能性
- 東京学芸大学大学院生 潘智恵
- 4 歌唱学習における声質の相似現象に関する研究
—集団学習の特質に着目して—
- 東京学芸大学大学院生 戸谷登貴子
- 5 学校音楽を「学ぶ」ことと「教える」ことの諸相(4)
—教師は学校音楽をどう経験するか—
- 立命館大学 笹野恵理子
- 6 《竜宮伝説》と《あんたどこさ》
—集団お手合わせ遊びの創作における〈怖さ〉と〈技〉の追求—
- 帝塚山大学 村尾忠廣

研究発表E (オーチャード北) 3日(土) 9:30~12:30

司会: 川口明子(岩手大学)・山本幸正(国立音楽大学)

- E-1 〈心理的成長に添った変容〉〈往還する領域の必要性〉からの実践研究
 一公教育の必修だからこそできる教科「音楽」の学びを明確化・共有化しあうために一
 神奈川県葉山町立葉山小学校 畑山美穂子
- 2 意味作用から作品解釈につなげる高等学校芸術科音楽のオペラ鑑賞
 一ヴェルディ『ラ・トラヴィアータ』に焦点を当てて一
 東京学芸大学大学院生 結束麻紀
- 3 即興を通じた音楽様式の学習に関する一考察
 一小学校音楽科における実践事例の分析を通して一
 東海学院大学短期大学部・東京学芸大学大学院生 田中路
- 4 創作活動のねらい及び活動内容に関する研究
 一平成元年以降に出版された小学校音楽科教科書の検討を通して一
 広島大学大学院生 岡崎藍
- 5 となえうた「どれにしようかな」の音楽的多様性と教材化に関する試論
 東京未来大学 森薫
- 6 岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」
 一第1学年の実践(昭和52年)一
 広島大学名誉教授 吉富功修
 広島大学 三村真弓
 聖徳大学 八木正一
 広島大学附属三原小学校 長澤希

研究発表F (オーチャード南) 3日(土) 9:30~12:30

司会: 有本真紀(立教大学)・佐野靖(東京藝術大学)

- F-1 音楽的複眼思考の深まりをめざした授業の試み(2)
 一タブレット型端末を用いた音楽創作の実践から一
 北海道教育大学附属札幌中学校 渡辺景子
- 2 絵譜の有用性について考える(1)
 一絵譜作成をとおして一
 湊川短期大学 臼井奈緒
- 3 「音楽における創造的思考力」と即興的創作演奏の関連(3)
 一ヤマハ音楽教室在籍児童の創作プロセスの質的検討を中心に一
 ヤマハ音楽振興会 渚智佳
 宮崎大学・ヤマハ音楽振興会 酒井勇也
 ヤマハ音楽振興会 馬田一郎
 ヤマハ音楽振興会 小川純一
- 4 特別教科(音楽)教員養成課程設置による地方への音楽教員養成拡大
 一カリキュラムに着目して一
 鳥取大学 鈴木慎一郎
- 5 保育者養成校のピアノ導入期におけるソルフェージュ指導の試み
 一読譜力の育成からピアノ演奏技術へ一
 東海学院大学短期大学部 内山尚美
- 6 気候をテーマとした音楽表現活動の試み
 一春のイメージを音に一
 岐阜聖徳学園大学教育学部 加藤晴子
 岡山大学大学院教育学研究科 加藤内蔵進

研究発表 G (ジブラルタル) 3日 (土) 9:30~12:00

司会: 今田匡彦 (弘前大学)・中地雅之 (東京学芸大学)

- G-1 イギリス初等教育 KS1 における伝承童謡の位置付け
—Nursery Rhymes (ナースリーライムズ) の意義と役割—
東北福祉大学 鈴木 敦子
- 2 音楽・音, 人の動きの音の風景
—「鞍馬の火祭り」のフィールドワークを中心に—
京都造形芸術大学大学院生 小川 豊子
- 3 長唄熟達者と声楽熟達者のうたごえの特徴の比較研究
—長唄の稽古の実践を通して—
東京藝術大学大学院生 鹿倉 由衣
- 4 Multicultural music education through interdisciplinary approach.
京仁教育大学校 ^{キム}金 ^{ヨン}容 ^{ヒメ}姫
- 5 韓国における国楽教育分野の近年の研究動向の分析
韓国学中央研究院・韓国学大学院大学院生 ^イ李 ^ジ智 ^ヘ叡

研究発表 H (海峰) 4日 (日) 9:00~12:30

司会: 権藤敦子 (広島大学)・鈴木慎一郎 (鳥取大学)

- H-1 熊本県の合唱史
—合唱指導者としての有馬俊—
愛知教育大学 国府 華子
- 2 音楽教育における「学びの身体」の理論的整理
—身体—学習—音楽の関係をめぐって—
東京学芸大学大学院生 田邊 裕子
- 3 エドガー・ウィレムの音楽教育メソッド
—人間の本質を礎とする音楽教育思想—
広島大学大学院生 ジュゼップ・フェラン・ガリシア
- 4 文部省による初等学校校歌の位置づけ
—1890年から1945年に公布された各法令に着目して—
京都大学大学院生 須田 珠生
- 5 音楽と言葉の有効な関係性
—音楽と言葉の〈戯れ〉についての考察—
弘前大学大学院生 前田 一明
- 6 セネガル共和国における小学校音楽科教育の展開の可能性
—文化的側面と教育指導書の分析を踏まえて—
東京学芸大学大学院生 飯島 渉
- 7 日本の音階について
—和楽器教育における理論的基盤を考える—
東京藝術大学 宮内 基弥

研究発表 I (瑞洋) 4日(日) 9:00~12:30

司会: 杉江淑子(滋賀大学)・壬生千恵子(エリザベト音楽大学)

I-1 音楽づくりの発達の特徴

—幼稚園3歳児クラスと4歳児クラスでの活動を通して—

滋賀県立新旭養護学校 岡 ひろみ

2 音楽活動に絶対音感が必要な

—絶対音感獲得による相対音感阻害の問題—

新潟大学 森 下 修 次

新潟大学 宮 崎 謙 一

3 重度・重複障害児の音楽教育について

—支援学校での音楽授業の実践—

西南女学院大学 末 成 妙 子

4 戦後の「生活のうた」の伝播と変容(1)

—保育現場におけるリズムの変化に関する実験的検証—

明治学院大学 水 戸 博 道・学習院大学 嶋 田 由 美

岡山大学 小 川 容 子・帝塚山大学 村 尾 忠 廣

5 悲しい音楽を好む児童に共通する共感特性

玉川大学脳科学研究所 川 上 愛

関西学院大学 片 平 建 史

6 創作「音の絵の具」の活動報告

弘前大学教育学部附属特別支援学校 小 枝 洋 平

7 音楽を活用した教科指導

—マルチ知能やマルチセンソリーメソッドの考え方を生かして—

早稲田大学大学院生 池 田 康 子

研究発表 J (ファウンテン) 4日(日) 9:00~12:30

司会: 木村充子(桜美林大学)・菅 道子(和歌山大学)

J-1 “音楽教育”へ求められるものとは

—ロンドンで子育て中の母親へのインタビューから—

中部大学 疇 地 希 美

2 幼児期の音楽レッスンにおける指導内容

—カワイ音楽教室の1~2歳のためのレッスン分析から—

(株)河合楽器製作所 渡 邊 拓

3 2歳児の楽器遊びにおけるモノとのかかわりの特徴②

—既知の楽器と未知の楽器へのかかわりの差に着目して—

静岡大学 石 川 眞佐江

共立女子大学 村 上 康 子

4 東ドイツの幼稚園における音楽教育に関する研究

—歌唱を中心に—

広島大学大学院生 井 下 べ に

5 保育者養成における弾き歌い教材別コース制導入の試み

—「こどものうた簡易伴奏集」導入を通して—

別府大学短期大学部 仲 嶺 まり子・別府大学短期大学部 藤 田 光 子

別府大学短期大学部 安 部 えつ子

6 シンガポールの教育改革が小・中学校芸術科音楽に与えた影響

—1992/1993年改訂版と2002年改訂版のシラバスに着目して—

広島大学大学院生 森 山 実 華

7 自己評価シートの工夫によるアクティブ・ラーニングの試行的実践

—21世紀型スキルを核とした合唱活動の模索—

愛知教育大学 新 山 王 政和

研究発表K (オーチャード北) 4日(日) 9:00~12:30

司会: 笹野恵里子(立命館大学)・深見友紀子(京都女子大学)

- K-1 日本民謡における学習の変遷と現在の認知度
—学生のアンケート調査を通して—
九州女子大学 城 佳 世
- 2 K.H.エーレンフォルトによる音楽を聴くことへの教育
—音楽と聴き手との対話を促す仲介の理論と実践—
鳴門教育大学 小 山 英 恵
- 3 国際バカロレアの音楽教育に関する研究
—プライマリーイヤー・プログラムを中心に—
広島大学大学院生 伊 藤 友 貴
- 4 指導方法に着目したオノマトペの働き
—日本語指導と音楽指導の考察を通して—
広島女学院大学 森 保 尚 美
- 5 音楽科と図画工作科の教科間連携による実践
—「音が見える作品」づくりを通して—
東京学芸大学附属小金井小学校 横 須 賀 恵
- 6 視聴覚メディアにおける映像と音楽の相互作用による興味・関心の形成
—テレビCMを題材として—
兵庫教育大学大学院連合学校院生 高 橋 潤 子
- 7 幼児期と児童期をつなぐ「子どもの表現」
—「遊び」と「音楽づくり」を関連させて—
北海道教育大学大学院生 下 田 愛佳里

研究発表L (オーチャード南) 4日(日) 9:00~12:30

司会: 尾見敦子(川村学園女子大学)・三村真弓(広島大学)

- L-1 変声期男子が快適に歌える合唱指導法と教材開発に関する研究(1)
—カンビアーティスト・コンセプトによる The Adolescent Reading Singer の分析—
山口大学 高 橋 雅 子
- 2 米国多文化音楽教育における当事者性に関する展開
—P.S.キャンベルの multiethnic music education 概念を中心に—
東京学芸大学大学院生 神 野 由布樹
- 3 イギリスにおける音楽のノンフォーマルティーチングの理念と方法
—中等学校の生徒と実践家の役割—
武庫川女子大学 小松原 祥 子
- 4 総合表現活動によって培われる多様な力(4)
—初等教育における「ダンス」「仲間とのかかわり」を視点として—
上越教育大学 時 得 紀 子
上越教育大学附属小学校 金 子 謙太郎
- 5 日本語の合唱曲を歌うための身体表現
—グレゴリオ聖歌のカイロノミーとリトミックの理論を用いた合唱指導—
東京音楽大学大学院生 坂 田 修 一
- 6 学校教育で音楽をつくることの再認識
—音楽はイメージから生成しない—
横浜国立大学大学院研究生 清 水 稔
- 7 音楽のイメージとイメージの表現に関する調査(1)
—標題音楽を対象曲とした場合—
兵庫教育大学大学院連合学校院生 星 野 ゆ み

研究発表M (ジブラルタル) 4日(日) 9:00~12:30

司会: 今川恭子(聖心女子大学)・木間英子(昭和女子大学)

- M-1 日本におけるチェルニー練習曲集の捉え方
—音楽学校での入試課題曲からの考察—
東京音楽大学大学院生 佐藤 容子
- 2 育成から始めたひょうたんの楽器による保育実践
—保育者養成校における音楽表現の学びに焦点をあてて—
田園調布学園大学 斉木 美紀子
- 3 教養教育における参加型音楽ワークショップの展開
—音楽観の再構築に向けて—
長崎大学教育学部 西田 治
- 4 邦楽家の学習観・教育観の変容
—ライフヒストリーによる分析を通して—
広島大学大学院生 仙北 瑞帆
- 5 大正期の広島女学校附属幼稚園保母師範科における音楽教育
—幼児曲集にみられる音楽教育の特性—
広島大学大学院 井本 美穂
- 6 ワークショップ ピアノにおける即興演奏指導法
—ハンガリーのアパジ・マーリア『ピアノの夢—創造的なピアノ学習』より—
宮城教育大学名誉教授 降矢 美彌子
- 7 高齢者学習の一環としての歌唱教室の取り組み
—有料老人ホームRの活動—
兵庫教育大学大学院生 山下 世史佳

研究発表N (フェニックス) 4日(日) 9:00~12:30

司会: 今由佳里(鹿児島大学)・永岡 都(昭和女子大学)

- N-1 ドイツの音楽科教師の自律性
—ハンブルク・モデルと第2次国家試験をもとに—
広島大学 伊藤 真
- 2 モーションキャプチャを活用した指揮法指導の可能性
—KINECTセンサーを用いた簡易動作分析システムを利用して—
静岡大学 志民 一成
静岡大学大学院生 大石 幸史
浜松市立伊佐見小学校 耳塚 日香里
- 3 音楽生成システムの利用事例からみる音楽的能力の不一致
相愛大学 橋田 光代
- 4 音楽科における教師の実践知に関する研究動向
佛教大学 高見 仁志
- 5 スウェーデンの伝統的な成人教育における生涯音楽学習の現在
—学習サークルを中心に—
マルメ大学 松本 進乃助
- 6 発達障害児の鍵盤楽器指導における読譜支援
—Silver Burdett "Making Music"とバスティンメソッドによる視覚的支援の意義—
お茶の水女子大学大学院生 深町 澄子
- 7 オランダにおける初等音楽科教育のための教員養成コース
—アムステルダム音楽院の試み—
広島文化学園大学 多田 愉可

共同企画

共同企画Ⅰ パネルディスカッション（瑞洋）3日（土）13:30～15:00

大きな音楽，小さな音楽

—モノ的音楽教育からコト的音楽教育へ—

企画者： 弘前大学 今田 匡彦
パネリスト： 弘前大学大学院生 高橋 憲人
弘前大学大学院生 前田 一明

共同企画Ⅱ ラウンドテーブル（クリスタル）3日（土）13:30～15:00

世界の音楽科学習指導要領を比較する（1）

—アメリカ、ハンガリー、フィンランド、ドイツでは音楽教育をどう考えているのか—

企画者・発表者： 横浜国立大学 小川 昌文
発表者： 川村学園女子大学 尾見 敦子
発表者： 聖徳大学 阿波 祐子
司会者： 昭和女子大学 永岡 都
発表者： 広島大学大学院生 井下 べに
指定討論者： Temple University Alison M. Reynolds

共同企画Ⅲ ラウンドテーブル（ジブラルタル）3日（土）13:30～15:00

教員養成・採用・研修における日本の伝統音楽実技の現状と課題

司会・総括： 岩手大学 川口 明子
報告： 宮城教育大学 小塩 さとみ
日本学術振興会特別研究員（東京藝術大学）山下 正美

共同企画Ⅳ ワークショップ，デモンストレーション（瑞洋）4日（日）13:30～15:00

歌唱・器楽・創作・鑑賞・共通事項の各領域を有機的に関連させる授業の提案

—ハンガリーの音楽の授業構成の応用—

企画者・司会者・話題提供者： 宮城教育大学名誉教授 降矢 美彌子
話題提供者： 金沢私立野田中学校 粕谷 雪子
会津若松市立荒館小学校 目黒 稚子

共同企画Ⅴ ラウンドテーブル（ファウンテン）4日（日）13:30～15:00

子どもが育つ音楽教育（2）

—ペラアントン校におけるウィレムの聴取力指導、及び即興ダンス—

企画者・司会者： 広島大学 三村 真弓
情報提供者： ペラアントン校 ラウラ・アスパウレヤ
ペラアントン校 カルメン・ナヘラ
話題提供者： 広島大学名誉教授 吉富 功修
広島大学 伊藤 真
話題提供者・通訳： 広島大学大学院生 ジュゼップ・フェラン・ガリシア

共同企画VI ラウンドテーブル（オーチャード北）4日（日）15:15～16:45

掛け合い歌の教育学II

研究代表： 新潟大学 伊野 義博
発表： 東京音楽大学 加藤 富美子
中部大学 黒田 清子
広島大学 権藤 敦子
小千谷市立片貝小学校 永井 民子
大湊町立大湊希望ヶ丘小学校 明道 春奈
国立音楽大学 山本 幸正
新潟大学院生 娜布 其

共同企画VII パネルディスカッション（海峰）4日（日）15:15～16:45

それって音楽性？

一人・音・環境の動的関係性を調律する musicality は資質を支える概念か—

企画・司会： 聖心女子大学 今川 恭子
指定討論者： 岡山大学 小川 容子
話題提供者： 静岡大学 志民 一成
駒沢女子大学 丸山 慎
共立女子大学 村上 康子
静岡大学 石川 眞佐江

共同企画VIII ラウンドテーブル（瑞洋）4日（日）15:15～16:45

音楽科は存在できるのか？

—文部科学省教科調査官を招いて今後の音楽科教育の展望を考える—

司会： 新潟大学 森下 修次
進行・聞き手： 玉川大学 高須 一
話題提供者： 白井学文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

共同企画IX パネルディスカッション（ファウンテン）4日（日）15:15～16:45

Inside or Outside? (3)

—両者の架橋としての Common-Side—

話題提供者： 弘前大学 今田 匡彦
日本女子大学 坪能 由紀子
話題提供者・司会： 明治学院大学 水戸 博道